

平成21年度事務事業評価表	担当	消防本部 総務課	内線等	99-3003
---------------	----	----------	-----	---------

事務事業名	教養研修事業			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)		
基本目標	3.健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	消防・救急	
基本目標、施策に対する貢献度		3点 施策の達成に非常に効果があった		
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

事務事業の内容

対象(受益者)	消防職員に対して
手 段	専門的な資格や技術・知識を取得し
成果、目標	資質の高い職員を育成し、市民の付託に応えるべく、体制の強化、能力の向上を図る。

成果指標

成果指標名	受講者率	受講生一人当たりの経費	
成果指標の説明	受講者数 / 総職員数 × 100	事業費 / 受講者数	
指標の推移	平成20年度決算(実績)	平成21年度決算(実績)	平成22年度予算(計画)
成果指標	19%	37%	30%
成果指標	234千円	187千円	267千円

事業の概要

項 目	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
職員数	104 人	107 人	114 人
消防学校 入校者数	8人	12人	15人
研修・講習等 受講者数	12人	28人	19人

事業にかかる人工

(単位：人)

H20 人工計	0.40人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.05人	係長級	0.10人	一般職	0.20人	非常勤		再任用	
H21 人工計	0.50人	次長 課長級	0.05人	補佐級	0.05人	係長級	0.10人	一般職	0.30人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項 目		平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	4,681	7,464	9,094
	人件費	2,910	3,400	
	合計	7,591	10,864	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	7,591	10,864	

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	より高度な知識及び技術の修得を図ることは、住民の生命、身体及び財産を守るため、消防職員として必要不可欠なものである。
-------------	----	--

必要性

必要性	B 市が実施するのが望ましい
-----	----------------

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
-----	-----------------------------

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
------	-------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	救急救命士の高度な技術を維持・レベルアップするため再教育を実施。
現在の課題、 問題点	世代交代に伴う若い職員の経験不足による戦力の低下が懸念され、活動技術の確保対策並びに向上させる諸問題について
今後の改善計 画	救急救命士養成に伴う経費削減のため、有資格者の新規採用を検討する。